

2020年4月2日  
日本生命保険相互会社

## 2020年度 新入職員向け社長メッセージ

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、2020年4月1日に新入職員を迎えました。  
社長の新入職員向けメッセージの主旨は以下のとおりです。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は動画でメッセージを放映。

### <日本生命の未来>

この度、日本生命に入社した皆さんは、社会人としてだけでなく、日本生命の未来を自らの力で作っていく、その一歩を踏み出しました。

日本生命の未来を作るのは皆さんです。今回の話の中で最も忘れてほしくないのは、このことです。

人口減少と高齢化がさらに進む日本において、生命保険事業のこれからは厳しいとの意見がありますが、私は、そうは思っていません。少子化や高齢化の中で、全ての人が、安心して安全な人生を送るために、十分な備えを行いたいというニーズは強く、これからも高まっていくと思います。

こうしたニーズに対し、日本生命は130年間にわたり、お客様に安全・安心という価値を提供しています。これからも私たちが努力を重ね、お客様の広がるニーズにしっかり応えることができれば、生命保険マーケットは拡大し、日本生命は成長していくと信じています。

そのような未来を皆さんと共有し、明るい未来を皆さんと一緒に作っていきたいと思います。

### <日本生命が大切にしてきたもの>

そのために、日本生命が大切にしてきたものを皆さんにも大切にしてもらいたいと思います。日本生命が大切にしてきたもの、これからも大切にしていくものは、2つあります。

1つ目は、お客様との信頼の絆です。

2つ目は、それを築くための、営業職員を中心とした、Face-to-Faceの活動です。

先人や先輩、そして私たち自身がお客様との信頼の絆と、Face-to-Faceの活動を、常に仕事の中心に置いてきたことが、130年の伝統と、業界トップの地位を日本生命にもたらしたと私は考えています。私は、これからも、Face-to-Faceの活動、すなわち「一人ひとりが心を込めて、お客様との信頼関係を築いていく」ことを、全ての仕事のベースにしていきます。

これからも一層、5万名の営業職員チャンネルを中心とするFace-to-Faceの活動に磨きをかけること、そして、デジタルを積極的に取り込み、Face-to-Faceの活動とデジタルを融合させること、これが私の描く日本生命の未来戦略です。

## ＜皆さんに心がけてほしいこと＞

### （１）「お客様本位の仕事」に徹する

どのような仕事も、「お客様の利益を最優先とする“信念”」を持ち、「お客様の声に耳を傾け、真摯に対応する“誠実”な姿勢」で「お客様のために不断の“努力”」を行うことが必要です。

例えば、保険の営業活動の場合には、ご家庭や職場を訪問し、お客様にお会いすること、お客様の話を生懸命に聞くこと、保障を語り、お客様の意向に沿った提案を行うこと、十分な説明を行い、加入手続きを正しく行うこと、お礼訪問とその後も定期的な活動を欠かさないことです。こうした基本活動に徹することがお客様との信頼の絆を作り、深めることとなります。

### （２）失敗を恐れず、変革へ挑戦する

前例にとらわれない、柔軟な発想を積極的に発信し、変革へ挑戦していただきたいと思います。

ものごとを大きく変えることだけが、変革ではありません。日常における小さな気づきや、改善がとても大切で、それを積み重ねることで、大きな変革にもつながっていきます。日々の仕事の気づきをそのままにせず、勇気を持って発信し、仕事のやり方を変えることにチャレンジしてほしいと思います。そのためには、自分の仕事に懸命に取り組むことに加え、担当領域以外にも、興味を広げてください。違う部署や、違う会社の仕事内容に興味を持ち、積極的にコミュニケーションをとることで、自分の視野が広がり、アイデアの幅も広がります。そして、アイデアを形にし、声に出していただくことを期待しています。

### （３）仲間を大切に、チームで仕事をする

皆さんが担当する仕事のうち、一人だけで完結する仕事はありません。どの仕事も、他の仕事とつながり、会社全体の大きな仕事になっていきます。チームで仕事することで、仕事の質が上がり、より大きな仕事ができます。チーム内で議論を重ね、協力し、助け合い励まし合うことで、連帯感が強まります。仲間を大切に、チームで仕事をする、このことを常に意識して、行動していただきたいと思います。

## ＜日本生命は人＞

日本生命は人で成り立っている会社です。人は力、人が全ての会社です。人材育成をあらゆる仕事のベースに置く会社です。日本生命は、皆さんの成長をあらゆる面でサポートしていきます。

どうか皆さんは、ご自分の能力を最大限に発揮してください。それが皆さん一人ひとりの未来と、日本生命の未来を力強く作っていく原動力であると、私は確信しています。

私と一緒に、日本生命の素晴らしい未来を作っていきましょう。

以 上